



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和5年1月10日

岡山市長 大森雅夫 様

団体名 千種まちづくり協議会

住 所

代表者 役職・氏名

提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	⑦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ⑧ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	万の富を探す会
事業実施小学校区	千種小学校区
事業の開始年月	新規 ・ <u>継続</u> ・ 2回目 【令和4年度から】
課題	1 地域にとって大切な歴史遺産の知識や資料を継承する人材がいない。 2 現在、全国的に注目を浴びている万富東大寺瓦窯跡の発掘調査に対する地元住民の関心が薄い。 3 地域に多くの歴史遺産や史跡があるにもかかわらず、地域の人の関心が薄く、この史跡などを訪れる人が少ない。
事業の目的	千種学区内には、東大寺瓦窯跡や宗堂桜など歴史遺産が数多く存在する。しかしながら、この多くの歴史遺産や史跡を訪れる人が少なく、地域の宝が眠ったままになっている。 令和4年度で誕生した観光ガイドが、各地で講習会等を開催し、地域の宝を再発見する機会を提供する。 また、観光ガイドが千種学区を訪れた観光客等に史跡等を案内し、千種学区の魅力を情報発信していく。
事業の内容	1 観光ガイドの組織づくり 令和4年度で誕生した観光ガイドを中心に万の富を探す会の組織づくりを行い、地域住民に対して講習等を行い、観光ガイドの周知を図る。 また、観光ガイドが活躍できる場を提供するため、インターネットの活用や岡山市、ツアー企画旅行会社などと連携し、観光客の呼び込みを推進する。

・ 感 染 防 止 対 策	2 ガイドをするための技術の習得 観光ガイドをするための技術を身に付けるため、話し方教室などの講習会を開催し、ガイド技術の向上を図る。 3 分かりやすい講習の資料の作成 学区内の史跡や歴史を紙芝居、DVD などに編集し、理解しやすい資料を作成する。 4 学区内を訪れる観光客等への観光ガイド 学区内の観光地を訪れた観光客に観光ガイドを行い、千種学区の魅力を情報発信していく。 5 案内看板等の設置 学区内を訪れた観光客等が、史跡や名所をウォーキングできるよう案内看板を設置する。 ※感染防止対策 1 参加者には、体温測定と氏名・連絡先の記入を義務付ける。 2 参加者は、必ずマスクと消毒を義務付ける。
期 待 さ れ る 成 果 ・ 目 標	1 知識の継承 令和4年度で誕生した観光ガイドを中心に組織を作り、千種学区内にある歴史遺産の知識などを継承する人材の発掘・育成を推進していくことができる。 2 講習会等の開催 観光ガイドが小学校、単位町内会等と連携し、様々な会合を利用して講習を開催することにより、住民の歴史への関心を高め、地域愛を醸成することができる。 3 万富東大寺瓦窯跡の情報発信 岡山市が行う発掘調査を地元住民に知らせる体制をつくることにより、新しい発見が出てくるたびに、情報発信し、発掘調査を広報することで、住民の関心を高めることができる。 4 観光ガイドの情報発信 ホームページの活用や、岡山市、観光ツアー会社などに観光ガイドのPRし、観光ガイドが活躍できる場を提供すると共に、受け入れ態勢の構築に努める。 5 観光ガイドの派遣 万富東大寺瓦窯跡、宗堂桜、金剛童子などを訪れた観光客に観光ガイドを派遣し史跡等の案内をすることにより、地域の宝を広く情報発信することができる。 6 案内看板の設置 案内看板を設置することで、電車で訪れた観光客をウォーキングロードにより史跡まで道案内をすることができる。
企 画 な ど の	1 ガイド技術の習得 令和4年度で誕生した観光ガイドが、観光客等にガイドができるよう話し方教室、ガイド資料の編纂を行う。 2 万富東大寺瓦窯跡の発掘調査の情報発信 万富東大寺瓦窯跡の発掘の進み具合や、発掘状況をインターネットなどでリアルタイムに情報発信し、地域住民が遺跡を身近に感じる体制を作る。

工夫	3 観光ガイドの周知 観光ガイドが活躍する場を提供するため、岡山市やツアー会社と連携し、ガイドの周知を図る。 4 わかりやすいガイド資料の作成 紙芝居、DVD などを作成して、誰もが理解しやすいガイド資料を作成する。
協働する団体等	1 万の富を探す会 2 岡山市 3 千種学区連合町内会 4 岡山市立万富公民館 5 岡山市立千種小学校 6 キリンビール(株)岡山工場
事業の情報公開	万の富を探す会の活動を千種学区連合町内会のホームページで公開し、情報発信する。 観光ガイドが単位町内会で行っているふれあいサロン等で歴史講話をして、万富東大寺瓦窯跡などの情報発信をする。 また、地元にあるキリンビール岡山工場を訪れる工場見学者に対して、キリンビールと連携しながら、千種学区内の歴史や史跡をガイドしていく。 さらに、小学生を対象に、歴史教育などを実施していく。
学区地区への広がり	令和4年度で誕生した観光ガイドが、千種小学校での授業、各種集会、サロン等で歴史の講習を実施し、地域の住民に学区内の魅力を発信していく。 観光ガイドが活躍できる場を提供するため、岡山市やツアー会社などと連携し、観光客の誘致を推進する。そして、観光ガイドが東大寺瓦窯跡、宗堂桜、三谷公園のもみじなど学区内の史跡を案内しながら、学区の魅力を情報発信する。
前年度からの見直し拡充点	新しく誕生した観光ガイドが活躍できる場を提供することは万の富を探す会にとって、大きな課題になっています。そして、観光ガイドの組織を充実させるとともに、事業の推進に向けての体制づくりも5年度の課題になっています。 令和5年度では、万の富を探す会の組織づくりとして、ガイドの中からそれぞれの役割分担を決め、担当が能力を発揮できるよう指導、助言を行うとともに、千種学区を挙げて協力ができる体制を構築していきます。 活動を支える資金面の不安があるが、活動を通じて資金の確保に努めていきます。 新しく組織を作り上げる「万の富を探す会」は、今後様々な試行錯誤を繰り返しながら成長ができるよう、千種まちづくり協議会が全面的に支援していきます。

次年度以降の予定	1 年度ごとの事業計画 令和4年度 ・ボランティアガイドの養成と情報発信 ・パンフレットの作成 ・奈良東大寺での研修 ・案内看板の設置 ・講習用DVDを作成のため情報収集及び検討 令和5年度 ・岡山市、観光ツアー会社と連携してガイドの情報発信をする。 ・話し方教室を開催し、ガイド技術の向上を図る ・単位町内会のふれあいサロンなどで歴史講話を開催する。 ・キリンビールなどと連携し工場見学者にガイドを行う。 ・講習用紙芝居、DVDを作成する。 ・案内看板の設置をする。 令和6年度 ・岡山市、観光ツアー会社と連携してガイドの情報発信をする。 ・単位町内会のふれあいサロンなどで歴史講話を継続する。 ・キリンビールなどと連携し工場見学者にガイドを行う。 ・万富東大寺瓦窯跡研修センターを開設する。 令和7年度 同じ事業を継続して実施する。 令和8年度 同じ事業を継続して実施する。 2 資金の確保 千種学区連合町内会が学区内の全世帯から集金している区づくり推進事業負担金の会費を活用して事業を実施する。 3 次年度以降も区づくり推進事業の申請を行い、岡山市が行う万富東大寺瓦窯跡の発掘調査が終わり、公園の整備が完了するまで申請を行う。 万富東大寺瓦窯の公園化が終了した時には、千種学区連合町内会の区づくり推進事業負担金及び活動支援補助金の会費を活用して事業を実施していく。
その他PRしたい点	鎌倉時代の国家の一大事業であった奈良東大寺の修復事業に貢献したとされる万富東大寺瓦窯跡は、いま大きな期待とともに岡山市によって発掘が行われています。 地元の千種学区としても岡山市の発掘調査にあわせて、令和4年度で誕生したボランティアガイドを中心にして、観光ガイドを行い、広く情報発信をしていきます。 学区内の史跡等には、四季折々訪れる人が多くいます。この観光客等にボランティアガイドを活用しやすいようホームページで情報発信をしていきます。

令和5年度 事業計画

月	活 動 内 容
4 月	万の富を探す会総会 講習資料作成検討委員会設置準備
5 月	話し方教室の開催 講習資料作成検討委員会設置
6 月	講習資料の検討
7 月	講習資料の検討 話し方教室の開催
8 月	歴史教室の開催 講習資料の検討
9 月	歴史教室の開催 講習資料の検討
10 月	歴史教室の開催 講習資料の検討
11 月	歴史教室の開催 案内看板検討会議 講習資料の検討
12 月	講習資料の作成 歴史教室の開催 DVD 検討会議 案内看板検討会議
1 月	歴史教室の開催 DVD 検討会議 案内看板検討会議
2 月	DVD 作成
3 月	他地域の観光ボランティアとの交流会の開催

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	902,900	190,000	通常分補助率 初年度のみ4/5 ⇒ 1/2
実施団体負担金	220,800	170,000	千種学区連合町内会
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入		10,000	講習料
収入合計	1,123,700	370,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	286,380	20,000	インクジェット、トナー等
②食糧費	49,000	10,000	会議用お茶
③印刷製本費	218,700	75,000	講習資料、パンフレット作製等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	14,320	5,000	切手、はがき
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料		20,000	ホームページ開設
⑩原材料費	30,000	30,000	アクリル板、ペンキ、DVD、画用紙等
⑪委託料	60,000	50,000	デザイン、作画等
⑫工事請負費	93,000	50,000	看板設置等
⑬報償費	84,613	90,000	講師謝礼
⑭保険料	11,900	10,000	ガイド保険料
⑮旅費	270,700		
小計(①)	1,118,613	360,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	19,979	10,000	体温計、マスク、消毒スプレー等
小計(②)	19,979	10,000	
支出合計(①+②)	1,138,592	370,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する	☒ 希望しない
----------------	------	--

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。